

山形市議会議員

松田たかお通信

Volume

09
2020. 新春

安心して住み続けられる“まち”と“ひと”づくり。 “健康”づくりに、全力で取り組みます!!

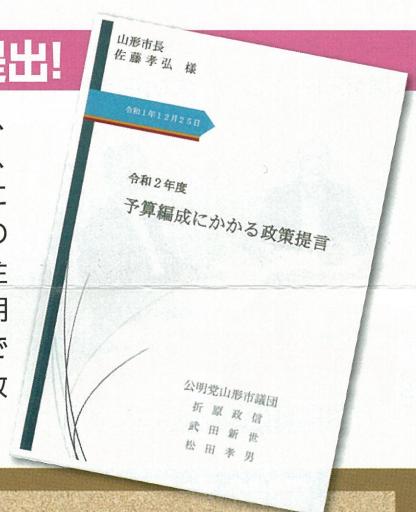
皆様におかれましては、新しい年を健やかにお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。また、旧年中は格別のご厚情を賜り深く感謝申し上げます。とりわけ、春の山形市議会議員選挙では、市民の皆様からのお力添えとご支援を賜りまして再選を果たすことができました。皆様のご期待とご負託にお応えできますよう、私の信条である「ひとりに寄り添う気持ち」を大切に、「安心して住み続けられる“まち”と“ひと”づくりに。そして“健康”づくり」に、全力で取り組んでまいります。引き続き、市政発展のために力強いご支援とご指導を賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

さて、本年7月、いよいよ待ち望んでいた東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。日本での夏季五輪の開催は56年ぶりです。今大会では、史上最多となる競技と種目が予定されております。世界各地から日本に詰め掛ける選手や関係者、そして観戦者に日本と山形の良さを知ってもらう絶好の機会であり、世界中の人々を最高の“おもてなし”で歓迎したいと思います。地元ゆかりの選手をはじめ、国を代表して参加される全選手の健闘と大会の成功を心よりご祈念申し上げます。



皆様の「声」と調査研究を重ね政策提言。佐藤市長に提出!

12月25日、公明党山形市議団（会長：折原政信、幹事長：武田新世、会計：松田孝男）は、令和2年度予算編成に關わる政策提言を佐藤孝弘市長に提出いたしました。公明党は、昨年の11月で結党55年の大きな節目を迎えました。党創立者が示された『大衆とともに語り、大衆とともに戦い、大衆の中に死んでいく』という不变の立党精神を胸に、大衆の一員、代表として人間主役の政治を前に進め、政策の優先度が低かった福祉や教育、住宅、医療など国民生活の身近な課題を着実に前進させてきました。この度の提言も、公明党山形市議団が市民の皆様から直接お伺いしている身近な課題の解決から、地球規模で推進する持続可能な開発目標「SDGs」の達成に向けて、山形市が具体的に目指すべき政策として纏めたものです。（詳細はホームページに掲載）



令和2年度の予算編成にかかる政策提言「5分野」

- 1、世界に誇る「健康医療先進都市」実現のために（12項目）
- 2、県都に相応しいトップクラスの子育て環境整備のために（11項目）
- 3、活力ある産業のまちづくりのために（6項目）
- 4、市民協働のまちづくりのために（3項目）
- 5、安全・安心のまちづくりのために（9項目）



楽しみながら健康づくり。健康ポイント事業が刷新!

山形市では、健康医療先進都市の実現に向け、市民の皆様の健康に対する意識を高めることを目的に、Sが食事、Uが運動、Kが休養、Sが社会参加、Kが禁煙、受動喫煙防止の頭文字をキーワードとした「ススクス(SUKSK)生活」を提唱し、具体的な取り組みを進めております。その事業の一つとして、市民の皆様が楽しみながら健康づくりに取り組めるよう、健康ベニレージポイント事業を大きく刷新した「山形市健康ポイント事業ススクス」を、昨年9月29日から開始いたしました。この事業は、市民の皆様に、スマホアプリ又は歩数計を活用していただきながら、毎日の歩数や、健康づくりに関する講座等への参加や健康診断の受診、更には、ボランティアへの参加などで健康ポイントを貯めていただきます。一定のポイント数に達した方は、抽選に応募することが可能となり、当選者には記念品として、電子マネギフトや中心商店街の商品券、山形牛やお米、野菜等の山形市の特産品が貰えます。これまでの議会質問や会派による政策提言のなかで、健康寿命を延ばすため、健康ベニレージ事業の大幅な拡充と、ボランティアポイント制度と連動した施策の実施を求めてきました。是非、幅広い年代の皆様にご参加いただき、楽しみながら、健康に対する関心を高めていただきたいと考えております。私が参加した、第7回「山形まるごとマラソン」もポイント対象事業で、完走後に500ポイント付与されました。



ポイント対象事業まるごとマラソン



歩数計の受信機



アプリ画面

風疹クーポン配布開始!

風疹が流行しており、一昨年、首都圏の成人男性を中心に3000人近くが罹患し、昨年も患者数が2000人を超えていた。風疹で最も注意したいことは、妊娠中の女性が感染することで、おなかの赤ちゃんに起こる悪影響(難聴や心臓病などの障害)です。未然予防においては、女性だけではなく男性もワクチン接種が必要ですが、予防接種を公的に受ける機会がなかった男性が全国には約1500万人あります。このことを市議会でも取り上げてきましたが、昨年5月、風しん抗体保有率の低い40~57歳(62年4月2日~79年4月1日生まれ)の男性に対して「風しん抗体検査」及び「風しん予防接種」の無料クーポンの配布がスタートしました。今年度は、40~47歳の約646万人に無料クーポン券が発送。未発送の48~57歳でも、市の担当窓口に連絡すれば発行されます。大切な未来の宝に被害が及ぶ前に、対象者は早期の検査と予防をお願いします。



健康増進施策の勉強会



風しん予防の啓発ポスター



配布が始まった風しんクーポン

がん健診を受診しましょう!

生涯のうちに約2人に1人が“がん”に罹患すると推計されており国民の生命と健康にとって癌は重大な問題です。一方、がんは早期発見で治療を始めることで治癒する病気となってきました。このため、山形市では特定健診と同時にがん検査を受診できる取り組みを行っています。一昨年の12月市議会定例会において、さらなる早期発見のために厚労省が発表するナッジ理論による好事例で紹介がある「オプトアウト申込書」の採用を提案してきました。昨年度からの国民健康保険者が集団健診を受診する際の申込書に、この方式が採用されました。オプトアウトとは、どうしても受けたくない項目を選んでもらう手法のことです。受診率向上により早期発見に繋がることと期待しております。

平成31年(2019年)度
集団健診申し込みハガキ 締切日: 5月 20日

松田 孝男 様
電話番号(日本、ご本人と連絡が取れる番号)をご記入ください
(自宅・勤務先・携帯電話)
□□□-□□□□-□□□□

1. 「山形市健康診査のお知らせ」の対象者等をご確認の上、下記の希望しないものにXをつけてください。
↓
□ 特定健診 □ 肺がん
□ 骨がん □ 骨がんリスク
□ 大腸がん □ 腹立肺がん(既往のみ)

下記の都合のつかない日にXをつけてください。
↓
□ 日 程 □ 会 場
7月 16日 [] []
7月 17日 [] []
8月 22日 [] []

↓ 検診の種類 □ 日程 □ 会場

***** 訴当外

乳がん検診は、今年度よりマンモグラフィのみになります。
受付時間等の詳細は、決算額表示の問合せにお問い合わせ下さい。

新しくなった集団健診申込書→

総務委員会で先進地を視察

総務副委員長を拝命してから初めての委員会視察のため、7月30日から8月1日に広島県を訪問いたしました。初日は「東広島市の防災センター」を視察。ここでは同市に立地する広島大学との共同研究として災害VR(仮想現実)ソフトの開発を進めています。施設概要の説明を受けた後、「土砂災害避難VR」と「火災避難VR」を体験してきました。リアルな仮想現場を体験することで早期の避難行動に繋げる取り組みです。また、センター以外の出前講座等での啓発にも努めておりました。2日目は、呉市を訪問し「連携中枢都市圏の取組み」についての視察。同市は山形市と同様に政令市である広島市と隣接する中核市であることから、導入までのプロセスは大変に参考となりました。本年4月の連携事業スタートに向けて具体的な協約を丁寧に進めていくことが肝要です。なかでも、ふるさと納税の連携事業は大きな成果をあげておりました。3日目は廿日市市で「中山間地域のバス路線再編事業」についての視察。民間路線と自主運行路線の役割分担の見直し、ダイヤ調整や接合地点の整備を進めることで成果をあげておりました。人口減少と高齢化で持続可能な公共交通や運転免許証返納問題は喫緊の課題です。山形市の公共交通環境も地域毎に異なる課題があります。令和2年度に策定予定の山形市公共交通網形成計画策定の参考といたします。



廿日市市で公共交通に関する視察



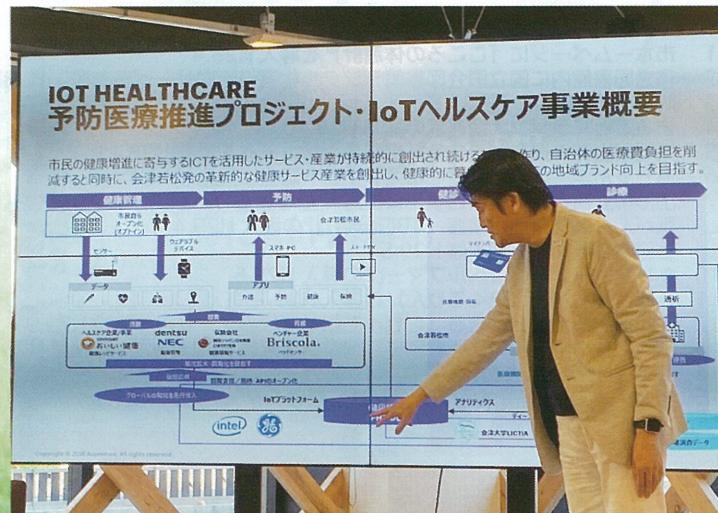
東広島市の防災センター

暮らしを支える「スマートシティAiCT」の挑戦

昨年11月、会派で福島県会津若松市の「AiCT(アイクト)」を訪問し、IT(情報技術)を駆使して効率的な行政サービスの提供を目指す「スマートシティ会津若松」の取組みを視察してまいりました。ここでは、官民産学が連携し、スマートシティの基盤となる「都市OS」の共通機能の強化を図りながら、住民の様々なデータなどを一元管理し、行政サービスの向上につなげる実証研究を行っています。例えば、市のポータルサイトとなる「会津若松+(プラス)」では、市民が年齢や性別、家族構成などを入力すれば、個人に合わせた行政サービスの情報を提供できるようにしている。子供のいる家庭には予防接種の案内や保育所の入所案内などを優先的に表示することができる。また、同市内のIT技術の専門大学である会津大学では「アナリティクス人材」や「セキュリティ人材」の育成等に力を入れております。今後も、ソサエティー5.0(新たな未来社会)を見据えたモデル事業の取り組みに注目です。



会津若松市AiCT前にて



スマートシティーの勉強会

現場第一「聞きます」「走ります」



カーブミラー設置



通学路に街灯



右所信号機の設置



図書館の階段に手すり



街頭にて朝のごあいさつ



全面舗装の改修工事

勉強力の視察にて



在宅介護について



防災とコミュニティについて



山形市動物愛護センター内の処置室

【希望の未来を拓く6テーマ】

- ①健康医療先進都市実現に向けて、健康寿命を延ばしてまいります!
- ②トップクラスの子育て環境整備を目指し、父母子に安心を与えてまいります!
- ③活力ある産業のまちの創生に向けて、環境整備を進め働く場を創ってまいります!
- ④市民協働のまちづくりを進め、全世代が参加できる活躍の場を創ってまいります!
- ⑤安全・安心のまちづくりを目指し、防災・減災対策やバリアフリー化を推進してまいります!
- ⑥行財政改革の推進を図ってまいります!

主な実績と活動

- 1 市ホームページに「こころの体温計」を導入 H28.4
- 2 市立図書館内に国立国会図書館デジタル化資料転送サービスを導入 H28.5
- 3 防災ラジオの導入（融雪災害地区・土砂災害警戒区域・浸水洪水想定区域内）H28.9
- 4 まるごとマラソン大会運営の拡充 H28.10
- 5 婚姻届出時に撮影ができる婚姻記念撮影ボードを設置 H28.11
- 6 赤ちゃん誕生の際に祝意を伝えるギフト贈呈の実施 H29.4
- 7 山形市立第六中学校の通学路に街灯 4 基を設置 H29.4
- 8 胃がんリスク層別化検査（ABC 分類）の導入 H29.4
- 9 七日町御殿閣の石積改修 H29.5
- 10 ヘルプカード並びにヘルプマークの導入 H29.6
- 11 べにちゃんバス（東くるりん）の導入 H29.7
- 12 認知症をチェックできる「これって認知症」のケアサイト開設 H29.9
- 13 市内公立小中学校の普通教室に空調設備を整備 H30.8（六中音楽室 H29.8 整備）
- 14 公道の安全確保のため、探査車「スケルカー」による路面下空洞調査の実施 H30.10
- 15 Y-biz（ワイビズ）山形市売上増進支援センターの導入 H31.1



子育て支援の拡充



ヘルプカード・ヘルプマーク導入



東くるりんバス導入



防災ラジオ配布開始

【その他】

- ・安全・安心に通行するための環境整備（道路改修、道路標識、カーブミラー、信号機、街灯等の整備）
- ・豪雨災害に備えた、雨水対策と水路等の整備
- ・公共施設や観光施設等のバリアフリー化や無料wifiの整備拡充

